

福岡市博物館

Fukuoka City Museum

年間スケジュール

2019 — 2020



	2019年4月	5月	6月	7月	8月	9月			
特別展示室	3.15(金) ズブリの大博覧会 ～ナウシカからマーニーまで～		6.23(日)	7.6(土) 長くつ下のピッピの世界展 ～リンドグリーンが描く北欧の暮らしと子どもたち～	8.25(日)	侍～もののふの美の系譜～ The Exhibition of SAMURAI ～11.4(月・振休)			
常設展示室	FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと			FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと					
企画展示室 1	[古い]の図像学 4.21(日)	4.23(火) 筑前の女性文化人展3 -二川玉篠の絵画とゆかりの人々-	6.16(日)	6.18(火) 戦争とわたしたちの暮らし 28	8.18(日)	8.20(火) 古の刀剣 ～10.20(日)			
企画展示室 2 (黒田記念室)	ゆるカワ日本美術 5.6(月・振休)	5.8(水) 死絵-明るく笑ってさようなら-	7.7(日)	7.9(火) 藩主になるはずだった殿様	9.8(日)	9.10(火) 「肖像」を読み解く ～11.10(日)			
黒田家名宝展示	4.2(火) 本草図譜・本草図	5.12(日)	5.14(火) 黒田長湊竹図・書跡	6.16(日)	6.18(火) 黒田綱政蕪図・山水図ほか	7.21(日)	7.23(火) 金銀道具之帳控・天正大判・印子金	8.25(日)	8.27(火) 関ヶ原合戦図屏風(左隻) ～10.6(日)
企画展示室 3	4.2(火) 市制施行 130 周年記念 福岡市 これまでとこれから 1	7.15(月・祝)		7.17(水) 市制施行 130 周年記念 福岡市 これまでとこれから 2	～10.27(日)				
企画展示室 4	4.7(日)	4.9(火) 古代と暦	6.9(日)	6.11(火) 博多祇園山笠展19 -堂山と描かれた近世福博の女性たち-	8.4(日)	8.6(火) 筒描 一庶民生活の華一	～11.17(日)		

※国宝 金印「漢委奴国王」は常設展示室、大身鎧 名物「日本号」は企画展示室 2 (黒田記念室) で常時展示。

春～夏季の特別展のごあんない

特別展示室 3.15(金)～6.23(日)

ズブリの大博覧会

～ナウシカからマーニーまで～

スタジオジブリの設立から30年間の歩みを体感できる特別企画。これまでのジブリ作品がどのように生み出され、世に出て行ったのか。未公開を含む膨大な資料や映画公開当時に振り返る広告宣伝物が展示空間を圧倒します。



©1984 Studio Ghibli・H

特別展示室 7.6(土)～8.25(日)

長くつ下のピッピの世界展

～リンドグリーンが描く
北欧の暮らしと子どもたち～

日本・スウェーデン外交関係樹立150周年を記念した本展では、ユネスコ「世界の記憶」に登録された「長くつ下のピッピ」などの貴重な原画をはじめ、スウェーデンの生活文化、自然との共生、子育てに焦点をあてたアストリッド・リンドグリーン文学の世界を紹介します。



イングリッド・ヴァン・ニイマン《「長くつ下のピッピ」出版社用ポスター原画》1940年代後半 アストリッド・リンドグリーン社(スウェーデン)所蔵 Illustration Ingrid Vang Nyman ©The Astrid Lindgren Company. Courtesy of The Astrid Lindgren Company

イベントのごあんない

福岡ミュージアムウィーク 2019

5.18(土)～5.26(日)

第11回福岡ミュージアムウィークが開催されます。5月18日の「国際博物館の日」に合わせて、市内の18のミュージアムが参加。福岡市博物館でも秋の特別展「侍～もののふの美の系譜～」のイベントなどの楽しいイベントを行います。

※期間中、常設・企画展示室の観覧料が無料となります。



トワイライトミュージアム

7.20(土)～8.25(日)

期間中の金、土、日と8月12日(月・祝)～15日(木)は午後8時まで開館時間を延長します。(入館は午後7時30分まで)

※延長時間中、常設・企画展示室の観覧料が無料、「長くつ下のピッピの世界展」が団体料金となります。



春～夏～秋季の企画展のごあんない

企画展示室 3 4.2(火)～7.15(月・祝)

市制施行 130 周年記念
福岡市 これまでとこれから 1

今年は、明治22(1889)年4月1日に福岡市が誕生してから130年の節目です。本展では福岡市130年の歩みを写真や地図などを用いて振り返ります。



春～夏～秋季の企画展のごあんない

企画展示室 4 4.9(火)～6.9(日)

古代と暦

暦と元号が今よりも頻りに変わっていた古代。暦を語る上で欠かせない時代に焦点をあて、変えることの意味とそこに込められたおもしろいを考えてみます。



企画展示室 1 4.23(火)～6.16(日)

筑前の女性文化人展3 -二川玉篠の絵画とゆかりの人々-

江戸時代後期の福岡藩の書家二川相近の娘に生まれ、独特の絵画作品を残した玉篠と、彼女を取り巻く人々の事績を紹介します。



企画展示室 2 5.8(水)～7.7(日)

死絵-明るく笑ってさようなら-

歌舞伎役者など有名人の訃報を伝える浮世絵を、「死絵」と呼びます。字面は陰気ですが、絵面は意外とユーモラス。憧れの芸能人を思い浮かべながらご覧ください。



企画展示室 4 6.11(火)～8.4(日)

博多祇園山笠展19

-堂山と描かれた近世福博の女性たち-

福岡藩主黒田家に残された山笠図から優美な堂山を展示し、合わせて同時代を生きた福博の女性たちの姿を紹介します。



企画展示室 1 6.18(火)～8.18(日)

戦争とわたしたちの暮らし 28

6月19日の「福岡大空襲の日」にちなみ、館蔵の戦時資料を展示します。今回は、写真や衣服、雑誌などから、戦時の女性の暮らしを紹介します。



企画展示室 2 7.9(火)～9.8(日)

藩主になるはずだった殿様

幕府から跡継ぎと認められ、本当は福岡藩主になるはずだった殿様。彼らがなぜ藩主にならなかったのか？その理由や人となりなどを紹介します。



企画展示室 3 7.17(水)～10.27(日)

市制施行 130 周年記念 福岡市 これまでとこれから 2

誕生130年を迎えた福岡市では、これまで数多くの文化財が調査・保護されてきました。本展では市内の史跡を中心に、福岡の歴史と文化財について紹介します。



企画展示室 4 8.6(火)～11.17(日)

筒描 一庶民生活の華一

藍染の布地に映える鮮やかな色彩、豪快奔放に描かれたおめでたい絵柄。人々に訪れる晴れの舞台を演出するために職人たちが一枚一枚染めあげた筒描(つつがき)の数々をお楽しみください。



企画展示室 1 8.20(火)～10.20(日)

古の刀剣

人々の戦いの歴史をモノ語る刀剣は武器であり、権威の象徴でもありました。日本では北部九州からはじまったその歴史を、弥生時代から古墳時代の刀剣を中心に紹介します。



企画展示室 2 9.10(火)～11.10(日)

「肖像」を読み解く

人の姿をあらわした肖像はどのような目的で制作されたのでしょうか。館蔵の資料を通して個々の肖像が制作された背景を読み解きます。

